

北部機械金属業界の景況動向

(2020年10~12月実績/2021年1~3月見通し)

■調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業170社【調査集計：2020年12月末】 ■調査実施時期：四半期ごと
 ■回答数：128社（回答率：75.3%）※内訳は以下のとおり
 ①市町別 福知山市：24社/舞鶴市：20社/綾部市：18社/宮津市・与謝野町：13社/京丹後市：53社
 ②業種別 鉄鋼：4社/金属製品：24社/一般機器：57社/電気機器：16社/輸送用機器：13社/
 精密機器：2社/樹脂製品：8社/その他：4社
 ※「鉄鋼」…鍛造品、鋳造品等「一般機器」…工作機械、産業機械部品等/
 「電気機器」…家電部品、電子部品等「輸送用機器」…自動車部品、船舶等/
 「精密機械」…半導体・液晶関連、精密機械部品等/「樹脂製品」…プラスチック製品・ゴム製品等
 ③従業員数別 1~9人：35社/10~19人：27社/20~49人：36社/50~99人：14社/100人以上：16社
 ※調査票の郵送およびE-mail送信によるアンケート調査に加え、一部企業に対しヒアリングを実施
 ※業況判断DI (Diffusion Index)：「非常に良い」「良い」と回答した企業の割合から「非常に悪い」「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた値

— 調査結果 —

《概況》

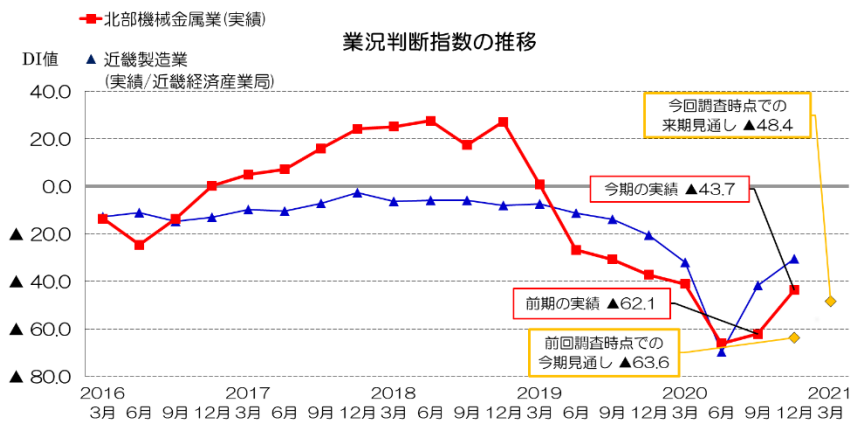
2020年10~12月期（以下「今期」）の業況判断DI（以下「DI」）は同年7~9月期（以下「前期」）に続き、全体的に持ち直しの動きが見られたものの、採算状況は4割強の企業が「赤字」と回答した。受注量も、過半数の企業が前年同期の8割以下と回答しており、依然として厳しい状態にある。また、2021年1~3月期（以下「来期」）の見通しもコロナ禍収束が不透明なことから、本格的な持ち直しには時間を要することが予想される。

1. 景況動向判断

今期の実績DIは▲43.7となり、前期の実績DI▲62.1に比べ18.4ポイント増加、また、前回調査時の見通しDI▲63.6に比べても19.9ポイント増加となっており、前期に続き、持ち直しの動きが見られるものの、値としては依然低い状況であり、厳しい結果となった。

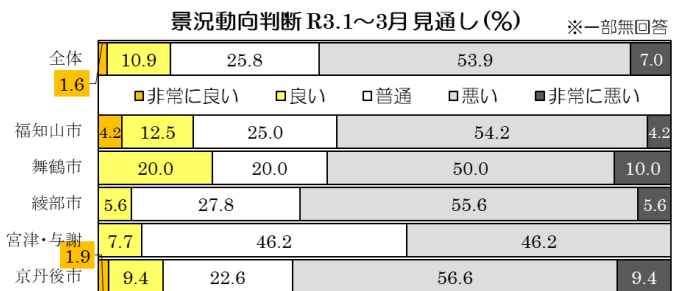
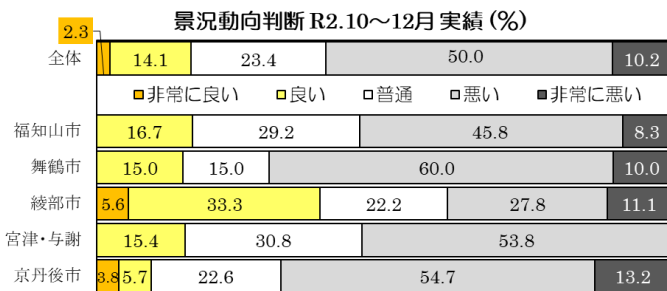
次に、来期見通しDIは▲48.4となり、前回調査時の見通しDI▲63.6に比べ15.2ポイント増加し、前期に続き、持ち直しの動きが見られるものの、依然として低い値を示している。

地域別の実績DIは、綾部市をはじめ、自動車関連の企業で持ち直しの動きが見られたものの、見通しDIはすべての地域で低い値となっており、本格的な持ち直しには時間を要することが予想される。



京都府北部地域における業況判断DI

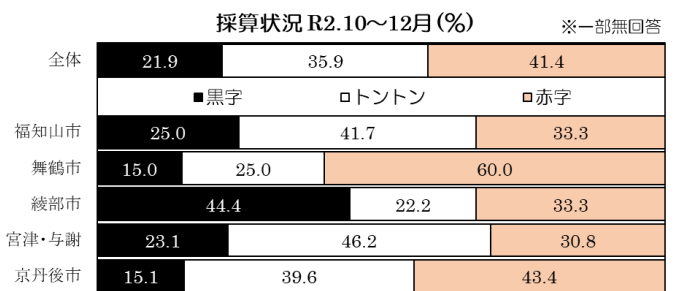
地域	実績DI			見通しDI		
	前々期	前期	今期	前々期	前期	今期
全体	▲66.2	▲62.1	▲43.7	▲73.5	▲63.6	▲48.4
福知山市	▲69.2	▲59.3	▲37.5	▲73.0	▲70.4	▲41.7
舞鶴市	▲35.0	▲52.6	▲55.0	▲45.0	▲63.2	▲40.0
綾部市	▲86.3	▲52.6	0.0	▲86.4	▲47.4	▲55.6
宮津・与謝	▲38.5	▲61.5	▲38.5	▲76.9	▲61.5	▲38.5
京丹後市	▲74.5	▲70.4	▲58.5	▲78.2	▲66.7	▲54.7



2. 採算状況

採算は、黒字とする企業が21.9%となり、前期18.2%に比べ3.7ポイント増加。赤字とする企業は41.4%となり、前期47.7%に比べ6.3ポイント減少した。

地域別では、綾部市の黒字企業が44.4%となり、前期26.3%に比べ18.1ポイント増加したものの、すべての地域で赤字とする企業が3割を超えており、依然として厳しい結果であった。



3. 受注量

今期の受注量について、前年同期比100%以上を確保した企業は27.3%となり、前期13.6%に比べ13.7ポイント増加。3か月前比100%以上を確保した企業は57%となり、前期37.1%に比べ19.9ポイント増加した。しかし、過半数の企業が前年同期比80%以下と回答しているため、依然として厳しい状況が続いている。

稼働割合については、100%以上とした企業が22.6%となり、前期13.6%に比べ9ポイント増加したものの、低調な企業が多い結果となった。

【受注見通し】

来期の受注見通しについては、増加を見込む企業が15.6%となり、前期12.9%に比べ2.7ポイント増加。減少を見込む企業は21.1%となり、前期25%に比べ3.9ポイント減少した。

地域別では、綾部市において、減少とする企業が過半数に上り、来期の受注確保への懸念が表れる結果となった。

地域	101以上	100	99~81	80~51	50以下
全体	14.8	7.8	16.4	50.0	10.2
福知山市	8.3	12.5	16.7	45.8	16.7
舞鶴市	15.0	5.0	15.0	40.0	20.0
綾部市	27.8	5.6	22.2	44.4	
宮津・与謝	15.4	23.1	30.8	30.8	
京丹後市	13.2	3.8	11.3	62.3	9.4

4. 受注条件 (受注単価/納期)

受注単価が上がったとする企業は1.6%となり、前期0.8%に比べ0.8ポイント増加。下がったとする企業は8.6%となり、前期9.8%に比べ1.2ポイント減少した。結果として、約90%の企業が受注単価に変化なしと回答しており、大きな変化は見られなかった。

納期が長くなったとする企業は4.7%となり、前期3.0%に比べ1.7ポイント増加。短くなったとする企業は21.1%となり、前期15.9%に比べ5.2ポイント増加した。こちらも大きな変化は見られなかった。

5. 資金繰り

資金繰りの状況が好転したとする企業は5.5%となり、前期3.8%に比べ1.7ポイント増加。悪化したとする企業は26.6%となり、前期28.8%に比べ2.2ポイント減少した。依然として悪化と回答した企業割合が高いままであり、前期に続き、資金繰りの悪化が懸念される。

6. 従業員数

従業員数が不足気味とする企業は20.3%となり、前期12.9%に比べ7.4ポイント増加。過剰気味とする企業は30.5%となり、前期34.8%に比べ4.3ポイント減少した。舞鶴市では、自動車およびプラント関連業務の受注増となった企業で人手不足とする割合が高くなった。

地域	150以上	149~120	119~101	100	99~81	80~51	50以下
全体	5.5	4.7	14.8	18.0	46.1	7.0	
福知山市			29.2	12.5	45.8	12.5	
舞鶴市	15.0	5.0	5.0	10.0	40.0	20.0	
綾部市	11.1	5.6	11.1	5.6	27.8	38.9	
宮津・与謝	7.7	7.7	15.4	15.4	53.8		
京丹後市	3.8	3.8	15.1	20.8	49.1	3.8	

地域	150以上	149~120	119~101	100	99~81	80~51	50以下
全体	4.7	12.5	15.6	24.2	18.0	18.8	4.7
福知山市	4.2	20.8	4.2	29.2	16.7	12.5	12.5
舞鶴市	15.0	20.0	5.0	25.0	20.0	10.0	
綾部市	16.7	11.1	22.2	16.7	22.2	11.1	
宮津・与謝	7.7	23.1	53.8	7.7	7.7		
京丹後市	3.8	9.4	15.1	24.5	17.0	26.4	1.9

地域	増加	横這い	減少
全体	15.6	60.9	21.1
福知山市	20.8	62.5	16.7
舞鶴市	20.0	65.0	10.0
綾部市	5.6	38.9	55.6
宮津・与謝	15.4	76.9	7.7
京丹後市	15.1	62.3	18.9

地域	上がった	変化なし	下がった
全体	1.6	88.3	8.6

地域	長くなった	変化なし	短くなった
全体	4.7	71.1	21.1

地域	好転	不変	悪化
全体	5.5	65.6	26.6
福知山市	12.5	62.5	25.0
舞鶴市	5.0	60.0	35.0
綾部市	5.6	55.6	38.9
宮津・与謝	15.4	46.2	30.8
京丹後市		77.4	18.9

地域	不足気味	適当	過剰気味
全体	20.3	48.4	30.5
福知山市	25.0	41.7	33.3
舞鶴市	40.0	35.0	25.0
綾部市	22.2	38.9	38.9
宮津・与謝	15.4	53.8	30.8
京丹後市	11.3	58.5	28.3